

高橋ゆうこ県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

犯罪被害者に支援の手

高橋委員 殺人や強盗の
ような凶悪事件や、子ども
や高齢者が犠牲になる痛ま
しい交通事故などが依然と
して多く発生しており、県
民のだれもが犯罪に巻き込
まれる可能性がある。

そのような中、社会全体
で犯罪被害者やそのご家族
暮らせる千葉県の実現に寄
与することを目的として、

昨年の2月議会において、
我が会派が中心となって提案
した千葉県犯罪被害者等
支援条例が可決され、昨
年4月から施行されている。

現在、県ではこの条例に
基づき、犯罪被害者等の支
援体制の整備を始め、市町
村や民間支援団体等へのサ
ポートや犯罪被害者等に対する
県政や富里市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ

富里市選出の高橋祐子県議は2月定例県議会予算委員会で質問に立ち、犯罪に遭りて被害を被った人たちへの支援や女性犯罪被害者の救済、コミュニティ・スクール導入、カーボンニュートラルなどについて、県の担当者に現状や今後の施策を質問しました。昨年4月から施行されている「千葉県犯罪被害者等支援条例」に基づき策定中の支援推進計画について、高橋県議はその特徴などを聞き、犯罪被害者等に寄り添った支援推進を要望しました。高橋県議の質疑と県担当者の答弁を紹介します。

2月定例県議会予算委員会



2月定例県議会予算委員会で質問する高橋祐子県議
コメントを実施し、計画案に対する県民や市町村の意見をうかがったところであり、年度末までに支援推進計画を策定してまいります。
高橋委員 3月下旬までに策定予定とのことだが、策定中の支援推進計画の特徴は何か。

環境生活部長 計画案で

県が支援推進計画

えた計画案を作成しました。
2月4日から3月3日まで、パブリックコメントを実施し、計画案に対する県民や市町村の意見をうかがったところであり、年度末までに支援推進計画を策定してまいります。
高橋委員 3月下旬までに策定予定とのことだが、策定中の支援推進計画の特徴は何か。

被害者に寄り添った支援を

どのような施策を総合的かつ計画的に推進するため、支援に関する計画を策定中と聞いています。

そこでうかがうが、千葉県犯罪被害者等支援推進計画の策定状況はどうか。
くらし安全推進課長 県
年4月から実行されています。
そこでは、今年度、支援機関や
県議会議員が構成する計画策定
議会を開催して、年々増加傾向にある被害の相談を適切な支援につ

コーディネーター増員 見舞金制度の創設 無料法律相談の実施

は、「被害者等への迅速な支援の実施」や「県内のどの市町村に住んでいても同様に受けられる支援の実施」等、6つの重点課題を掲げてそれぞれ取り組みを進めるとしています。
また、新たな施策として、「犯罪被害者支援」「コーディネーター」の増員、犯罪被害者やその家族に対する「見舞金制度」の創設、弁護士会と連携した無料法律相談の実施等を盛り込んでいます。

高橋ゆうこプロフィール

○経歴○

- 富里市御料生まれ
- 富里南小学校卒業
- 成田高校付属中学校卒業
- 成田高校卒業
- 早稲田大学第一文学部卒業
- 平成23年富里市議会議員当選
- 平成27年富里市議会議員当選
- 平成31年千葉県議会議員当選

○現職○

- 県議会 環境生活警察常任委員会委員
- 県議会 議会運営委員会委員
- 県議会 生活衛生適正化審議会委員
- 千葉県男女共同参画推進懇話会委員

る「無料法律相談」や「見舞金支給」等に関する業務を担当する予定です。
高橋委員 よりよい支援推進計画を策定し、犯罪被害者等に寄り添った支援を推進していくだ

●県政や富里市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ

高橋ゆうこ 県議事務所

〒286-0221 富里市七栄723-2
TEL 0476-33-7252 FAX 0476-33-7253

地域ぐるみ、学校運営に参加

令和4年4月21日(木曜日)

実施や、学校における働き方改革の推進、GIGAスクール構想の実現等に加え、不登校やいじめ、児童虐待への対応、感染症対策など、様々な課題に対応しなければならなくなつており、これらの課題に学校だけに対応することが困難になつてきておる。

高橋委員 今後、導入した後の運営の充実に向け、地域と学校との協働活動を担う人材の育成が重要と思われる。

高橋委員 去年の着実な学習指導要綱の着実な実施や、学校における働き方改革の推進、GIGAスクール構想の実現等に加え、不登校やいじめ、児童虐待への対応、感染症対策など、様々な課題に対応しなければならなくなつており、これらの課題に学校だけに対応することが困難になつてきておる。

一層の充実を要望

**性犯罪・性暴力被害を相談
ワンストップ支援センター**

の推移はどうか。
くらし安全推進課長 県のワンストップ支援センターの見込みはどうか。

千葉県では、「千葉性暴力被害支援センター」と「千葉犯罪被害者支援センター」における過去3年間の相談件数は、平成30年度が4,581件、令和元年度が5,454件、令和2年度が7,062件と増加傾向にあります。

高橋委員 ワンストップ支援センターの役割は、非常に重要なものと考える。

そこで、この278件という件数は水山の一角と言えるのではないか。

このような状況の中、さ

近年、学校現場においては、社会に開かれた教育課程の実現に向けた新たな取り組みが実施され、児童虐待や性犯罪対策など、様々な課題に対応しなければならなくなつており、これらの課題に学校だけに対応することが困難になつてきておる。

高橋委員 今後、導入した後の運営の充実に向け、地域と学校との協働活動を担う人材の育成が重要と思われる。



県担当者の答弁を聞く高橋県議

富里市内全校に導入

令和4年度から

「カーボンニュートラル・スクール」

引き続き、これらの機会を活用した人材育成に取り組んでまいります。

高橋委員 「ミニ・スクールを導入したから終わりではない。導入した後も、県教委員会として引き続き、スクールの充実を図つてほしい。

高橋委員 本県のカーボンニュートラルが実現するか否かは、次期実行計画にかかっている。カーボンニュートラルは、普通のベースでやつていてはとても無理なところでもなく高いハードルだ。削減目標については、本県の産業構造等、重々理解しているが、高いハ

ドルを越えるには高い目標の設定が必要。千葉県の本気度が問われている。本県においても、国の削減目標を踏まえた野心的な目標設定をすべきだ。

カーボンニュートラル

県地球温暖化対策実行計画

野心的な削減目標を

要望 高橋委員 本県のカーボンニュートラルが実現

定が必要。千葉県の本気度が問

設するとの発表があつた。

県においては、県民や企業、市町村等と協力、連携を図りながら、温暖化対策実行計画を改定し、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みを迅速かつ効果的に進めていただきたい。

要望 高橋委員 本県のカーボンニュートラルが実現

定が必要。千葉県の本気度が問

われている。本県においても、

カーボンニュートラル実現に向けた取り組みの推進を、横

断的視点として位置づけ、全庁

で取り組んでいくことに

いる。また、令和4年度の組織見直しにおいて、環境生

活部に「温暖対策推進課」を新設するとの発表があつた。

現在、策定中の千葉県総合計画では、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みを、横

断的視点として位置づけ、全庁で取り組んでいくことにしております。

循環型社会推進課長 アンケート調査の結果、県民、事業者ともに、節電行動やLED照明の導入などが進

んでおり、20代・30代の若い世代では温暖化の問題に関心が高いこと、事業者では、事業規模により、意識や取り組み状況に差が生じていること等の状況を確認したところです。

高橋委員 どのように計画の目標を設定するのか。

高橋委員 計画の目標を設定するのか。

高橋委員 や面接による相談、警察等の同行支援、法律相談やカウンセリング、医療費助成などの支援を行ってまいりますが、来年度は、さ

らに、臨床心理士等によるカウンセリングや性感染症に関する検査の回数を拡充

します。これらの調査結果等

を踏まえ、専門家や関係団体、市町村等の意見をうかがいながら、目標の設定について検討してまいりたいと考えております。

高橋委員 トータル支援センターにおける支援内容の一層の充実と、安定した支援ができるよう、支援員の確保、養成に加え、人件費の補助拡充を図つていただきたい。

性犯罪被害相談電話
シャープ ハートさん
#8103

(発信場所を管轄する都道府県警察の性犯罪被害相談電話につながります。)